

一緒に変えよう。政策はある。



幸福実現党

幸福実現NEWS

[党員限定版]

第75号

発行所 幸福実現党本部
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8
電話 03-6441-0754

©幸福実現党本部 2016年 平成28年1月7日



THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

新春を迎え、謹んで新年の挨拶を申し上げます。
昨年、4月の地方選、署名活動など
多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。
幸福実現党は、日本を強く、豊かにするべく、今夏の参院選勝利に向け、
全力を尽くしてまいります。本年一年、よろしくお願いいたします。

いざ参院選勝利へ 宗教政党という「新しい選択」を

新年にあたり、2016年の抱負や
党員の皆様へのメッセージなど、釈量子党首に聞きました。

国際問題解決に必要な 「世界的正義」

世界を見渡してみると、シリア紛争やイスラム過激派によるテロ、アジアにおいては中国の覇権主義の拡大などの問題が国際秩序を揺るがしています。本年11月には米国大統領選を控えています。その結果次第では、アメリカが「世界の警察」としての機能をさらに減退させ、世界各地が紛糾することも予想されます。

宗教対立や、民族の対立を回避するには、「何が正しいのか」「神仏はどう見られるのか」といったより大きな観点から、世界をまとめるより他なく、そのための「世界的正義」がいま必要とされているのではないのでしょうか。

いま日本に宗教政党が 求められている

国内を振り返れば、年初からマイナンバー制度が開始されます。また、2017年4月には消費増税を控え、「大きな政府」の姿が見えてくるとともに、国民の自由が死んでいく国家社会主義へと向かっているかのようです。

また、今年中に韓国をはじめとする数カ国が、ユネスコ記憶遺産に「慰安婦」資料の登録申請をすともいわれます。日本は国力相応の使命を果たすためにも「自虐史観」を克服し、周辺国の反日攻勢を止めなければなりません。しかし、昨年8月に発出された安倍談話では、大川隆法党総裁による「大川談話」とはかけ離れた内容となり、もはや、歴史認識の見直しは、我が党が先頭

に立って行っていくより他ありません。

数々の政治的問題を見るにつけ、率直に言って、「何をもって是とするか」という政治思想が定まっていないうえに迷走しているように見えてなりません。結局は、神仏の心に立ち返らなければ政治的問題の解決もできないと言わざるをえず、そのために、宗教政治家や宗教政党がいま求められているのではないのでしょうか。

宗教政党として力を尽くし、 いざ参院選勝利へ

特に現在、保守政党としての安倍政権の限界が見え、共産党主導による左翼連合の結託が呼び掛けられ、『共産党宣言』の思想が再び頭をもたげようとしています。その中、今夏の参院選は、日本を立て直すことができるわずかなチャンスの一つです。いま必要なのは、「自民」でも「非自民」でもありません。「新しい選択」です。

幸福実現党として、候補者一人ひとりがもう一段、愛深い徳ある宗教政治家を目指し、真なる宗教政党として多くの人々の悩みを解決できるよう力を尽くします。そして、参院選勝利に向け、広く国民に受け入れられる真正保守政党を目指してまいります。どうぞ、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。



2016

幸福実現党の飛躍を誓って

夏には、参院選も控える2016年。
年初にあたり、党役員に今年の抱負を聞きました。



かとう ぶんこう 加藤 文康

幹事長

新政党ポスターに「愛してるから、黙ってられない。」とあるように、神の愛を実現するために正論を訴え続けているのが、私たち幸福実現党の姿です。

私たちは神の愛を実現する「宗教政治家」として、使命感と誇りを持ち、未来志向の政策を武器として、決して正論を曲げることなく愚直に訴え続けてまいります。情熱をたぎらせ、寸暇を惜しんで有権者と触れ合い、一回ごとの演説に魂を込め、執念と真剣さで一

票ずつ積み上げていく覚悟であります。

本年は、5月には幸福実現党立党7周年を迎え、夏には参院選が控えております。今年こそ勝負の年です！みなさまと力を合わせ、悲願の議席を獲得し、必ずや大いなる幸福実現革命の第一歩としてまいります。参院選勝利に向け、改めて、みなさまのご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。また、本年一年のみなさまのご発展を心より祈念申し上げます。



やない ひっしょう 矢内 筆勝

総務会長 兼 出版局長

昨年に引き続き、福島復興、沖縄の基地移設問題は大きな問題です。

福島では原発20キロ圏内に住んでいた県民の帰還や、復興も遅れています。そのため、私たちは、「福島安全宣言の会」の活動を行い、一刻も早く福島に帰還できるよう、県内及び政府に働きかけています。

また、沖縄では翁長知事による昨年の国連演説を機に、琉球独立運動が活発化しています。そして、中国においては、先の沖縄戦における集団自決を「琉球大虐殺」と呼び、琉球独立を工作しています。

本年は参院選を控え、私たち国民一人ひとりが、この国の未来を守るために立ち上がるべき年であると思います。そのために、現実の危機をしっかりと知って、「なにが正義であるか」を具体化すべく行動を起こしていきましょう！



えなつ まさとし 江夏 正敏

政務調査会長

現在、自民党、民主党ともに、その政策は増税・大きな政府という路線に変わりはありません。しかし、これでは国民から徐々に自由が奪われてしまいます。幸福実現党は、「自由こそが人間を幸福にする」「減税・小さな政府こそ、国民がイキイキ働くことができ、経済が発展する」と考えます。そのため、「消費税10%への引き上げを中止し、税率を5%へ減税する」「国家を巨大な“監視社会”にするマイナンバー制度を見直す」と訴えています。

幸福実現党の新ポスターには「一緒に変えよう。政策はある。」とありますが、幸福実現党の強みは政策です。今夏の参院選では、党の主要政策と併せて、各候補の魂の叫びである地域政策を武器に戦っていきます。共にごがんばってまいりましょう！